

指定管理者申請のための
岩手県立総合防災センターの概要

令和 7 年 12 月
岩手県

目 次

1	名称	1
2	所在地	1
3	関係法令、条例等	1
4	目的	1
5	開設年月日	1
6	施設の沿革	1
7	施設の構造	1
8	面積	2
9	職員数	2
10	経費実績	3
11	利用状況	4
12	教育設備	5
13	防災体験セミナー	6
14	施設等の警備業務	6
15	自家用電気工作物の保安全管理業務	6
16	施設配置図	6
17	岩手県防災指導車	7

1 名称

岩手県立総合防災センター

2 所在地

岩手県紫波郡矢巾町医大通 2 - 2 - 2

3 関係法令、条例等

総合防災センター条例、総合防災センター条例施行規則

4 目的

県民の防災に関する知識及び技術の普及並びに防災意識の高揚を図ることを目的として整備されたものである。

5 開設年月日

昭和 61 年 4 月 19 日

6 施設の沿革

県民に対する防災思想の普及・啓発を図り、併せて大規模広域災害の発生に対処した防災資機材を備蓄する施設として、昭和 60 年度、国庫補助金（防災センター資機材等（広域分）整備費補助金）を得て、岩手県立総合防災センター（以下「センター」という）を建設した。

その後、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえて修正を行った県地域防災計画において、センターを「防災知識の普及及び自主防災組織等の活動の拠点」として位置付け、平成 8 年度に起震装置等各種展示設備やモニター映像等を更新。さらに、平成 26 年度には、東日本大震災津波等を踏まえた展示設備の更新を行うとともに、利用者に配慮した施設改修を実施した。

ソフト面においても、防災体験セミナー（6 コース～防災・避難・消火・応急手当・幼児・総合）や県民の防火・防災意識の高揚を図るための「消防体験まつり」を実施しているほか、平成 18 年度からは指定管理者による管理運営に移行することにより、運営の充実に努め、現在に至っている。

7 施設の構造

- | | |
|----------|--|
| (1) 工事着工 | 昭和 60 年 7 月 31 日 |
| (2) 工事完成 | 昭和 61 年 3 月 7 日 |
| (3) 給水 | 矢巾町上水道 |
| (4) 排水 | 矢巾町公共下水道（平成 17 年 3 月 30 日に浄化槽を撤去） |
| (5) 受電設備 | 消防学校から電気を供給（消防学校の受電設備：3 相 3 線 6 6 0 0 V） |

8 面積

(1) 敷地面積 消防学校敷地内 (消防学校敷地面積 44,386.75 m²)

(2) 建物延床面積及び構造

ア	防災センター	877.92 m ²	R C 造 2 階建
イ	消火訓練棟	16.65 m ²	R C 造平屋建
ウ	元浄化槽設置棟	5.27 m ²	R C 造平屋建

9 職員数 (令和 7 年 4 月 1 日現在)

4 名	(内訳) 短時間正職員	2 名
	臨時職員	2 名

10 経費実績

過去3年間（令和4年度から令和6年度決算）の経費は次のとおり。

（単位：円）

区分			令和４年度決算		令和５年度決算		令和６年度決算		３ヶ年平均		
			経費内訳		経費内訳		経費内訳		経費内訳		
人件費	正規職員		3,199,868		2,378,904		4,372,942		3,317,238		
	臨時職員		6,971,318		7,225,600		5,199,297		6,465,405		
	共済費		1,919,336	12,090,522	1,580,660	11,185,164	1,636,891	11,209,130	1,712,295	11,494,938	
旅費		事務連絡用務等	166,740	166,740	214,700	214,700	186,940	186,940	189,460	189,460	
需用費	光熱水費	燃料費	816,713		825,753		903,225		848,563		
		電気料	886,801		920,314		903,475		903,530		
		水道料	428,327		407,488		428,151		421,322		
		プロパンガス料	5,540	2,137,381	7,288	2,160,843	8,958	2,243,809	7,262	2,180,677	
	光熱水費以外	防災体験セミナー等事業用消耗品	292,377		203,987		251,101		249,155		
		印刷物類・コピー料金	286,230		665,414		486,134		479,259		
		その他一般消耗品等	396,470	975,077	311,201	1,180,602	216,337	953,572	308,003	1,036,417	
		維持補修費	建物維持修繕料	450,127		813,230		252,186		505,181	
	展示設備・物品維持修繕料		375,360		0		577,720		317,693		
	防災指導車保守整備費		52,734	878,221	147,631	960,861	73,618	903,524	91,328	914,202	
	食糧費	茶菓代	7,219	7,219	4,863	4,863	7,498	7,498	6,527	6,527	
	小計			3,997,898		4,307,169		4,108,403	4,137,823	4,137,823	
	役務費	通信運搬費等		138,193	138,193	144,623	144,623	243,203	243,203	175,340	175,340
		保険料	施設保険料	145,540		145,540		145,540		145,540	
起震車保険料※自賠責保険を含む。			89,550	235,090	110,690	256,230	91,260	236,800	97,166	242,706	
小計			373,283		400,853		480,003	418,046	418,046		
委託料	展示品装置等保守点検		572,000		638,000		638,000		616,000		
	防災指導車保守点検		605,000		687,500		701,250		664,583		
	冷暖房設備保守点検		272,800		275,000		287,100		278,300		
	地下タンク貯蔵所清掃点検		92,400		97,900		101,200		97,166		
	消防用設備保守点検		19,800		25,300		25,080		23,393		
	非常用発電設備保守点検		0		0		0		0		
	ホームページ保守等		0		0		0		0		
	清掃		897,600	2,459,600	930,600	2,654,300	976,800	2,729,430	935,000	2,614,443	
備品購入費		121,000	121,000	145,200	145,200	240,900	240,900	169,033	169,033		
公課費	自動車重量税		0		40,000		0		13,333		
	法人消費税・地方消費税		930,300	930,300	917,100	957,100	920,300	920,300	922,566	935,900	
その他		328,144	328,144	312,744	312,744	371,400	371,400	337,429	337,429		
合計			20,467,487		合計	20,177,230	合計	20,246,506		20,297,074	

※1 自賠責保険料及び自動車重量税は、2年に1度経費が計上される。

11 利用状況

(1) センター利用実績

区 分			令和4年度来館者数	令和5年度来館者数	令和6年度来館者数	開設時からの総来館者数 (令和6年度末現在)						
開 館 日 数			308 日	309 日	307 日	12,101 日						
総 来 館 者 数	団 体	団 体 数	120 団体	130 団体	144 団体	7,148 団体						
		人 員 数	2,321 人	2,649 人	2,618 人	247,484 人						
	個 人		1,679 人	2,034 人	2,537 人	160,817 人						
	合 計		120 団体 4,000人	130 団体 4,683 人	144 団体 5,155人	7,148 団体 408,301 人						
来 館 者 の 内 訳	研 修 コ ー ス 別	区 分	個人・団体		個人・団体		個人・団体		個人・団体			
			団体数	人 員	団体数	人 員	団体数	人 員	団体数	人 員		
		一般体験コース		1,679人		2,034人		2,537人	2,015	222,643人		
		防災体験コース	72	1,233人	72	1,299人	73	1,285人	1,464	41,097人		
		消 火コース	2	25人	3	39人	0	0人	498	15,957人		
		避 難コース	4	61人	8	187人	16	262人	904	40,259人		
		応急処置コース	0	0人	1	12人	1	21人	205	5,017人		
		幼 児コース	30	656人	35	695人	41	746人	1,098	39,857人		
		防災総合コース	0	0人	0	0人	0	0人	213	8,191人		
		視察等	0	0人	0	0人	3	28人	13	216人		
		その他（会議等）	12	346人	10	399人	10	276人	738	35,064人		
		合 計	120	4,000人	130	4,683人	144	5,155人	7,148	408,301人		
	対 象 別 区 分		団体数	人 員	団体数	人 員	団体数	人 員	団体数	人 員		
	団 体 内	県 内	幼年消防クラブ	0	0人	0	0人	0	0人	80	2,022人	
			少年消防クラブ	0	0人	1	13人	1	13人	220	7,611人	
			婦人消防クラブ	5	125人	5	80人	4	132人	549	16,194人	
			消防職・団員	7	206人	5	300人	7	180人	1,001	44,393人	
			企 業	5	44人	7	122人	1	9人	262	4,554人	
			社会福祉施設	15	216人	22	277人	30	410人	438	8,254人	
			町 内 会	16	271人	8	166人	12	187人	630	15,884人	
			婦 人 団 体	0	0人	1	30人	3	68人	116	3,043人	
			子 供 会	10	199人	13	308人	17	384人	528	18,962人	
			学 校	幼・小学生	34	765人	33	729人	34	680人	1,731	78,091人
				中 高 生	13	236人	11	206人	9	167人	244	7,456人
				大学・専門生	1	21人	1	18人	1	21人	42	843人
		自治体関係		9	149人	15	286人	20	310人	862	30,681人	

	対象別区分		団体数	人 員	団体数	人 員	団体数	人 員	団体数	人 員
	県外	消防関係	2	30人	3	60人	1	14人	291	6,029人
		自治体関係	1	15人	2	19人	3	30人	83	1,656人
		そ の 他	2	44人	3	35人	1	13人	71	1,811人
	小 計		120	2,321人	130	2,649人	144	2,618人	7,148	247,484人
個人	幼児・小学生		127人		203人		377人		39,225人	
	中・高校生		40人		23人		28人		4,880人	
	成 人		1,512人		1,808人		2,132人		116,712人	
	小 計		1,679人		2,034人		2,537人		160,817人	
	合 計		4,000 人		4,683人		5,155人		408,301人	

(2) 防災指導車利用実績

区分	令和4年度利用実績	令和5年度利用実績	令和6年度利用実績	開設時からの総利用実績
団体数	37 団体	46 団体	47 団体	876 団体
貸出日数	82 日	91 日	105 日	2,239 日
催事日数	38 日	49 日	51 日	882 日
参集人員	8,817 人	7,393 人	27,348 人	728,630 人
体験人員	3,268 人	4,103 人	6,137 人	158,246 人
機器使用時間	80 : 00 時間	107 : 00 時間	136 : 00 時間	2,391 : 00 時間
走行キロ数	3,428 k m	4,528 k m	4,881 k m	93,069 k m
燃料補給	800 リットル	1,028 リットル	1,132 リットル	37,591 リットル

12 教育設備

(1) 防災展示室

災害の発生する仕組みと対策（モニターＴＶ、パネル展示、体験コーナー、防災ライブラリー）

(2) 地震体験室

震度４から７程度の地震を体験できる部屋（東日本大震災の揺れを再現）

(3) 視聴覚教室

防災に関する講義などを行う学習室

(4) 煙体験室

煙の中の避難訓練

(5) 防災シアター

100 インチマルチプロジェクションシステムによる防災学習

(6) 消火訓練棟

消火器、屋内消火栓等の取扱い訓練

13 防災体験セミナー

防災体験研修及び教育訓練として、次のような防災体験セミナー等を実施している。

コース名	学 習 内 容
防災体験コース	災害時及び防災の日ごろの心構えを学習する
消火コース	各種消火機器による消火方法を学習する
避難コース	避難器具体験、各種災害時の避難、誘導方法を学習する
応急処置コース	緊急時の応急手当の方法を学習する
幼児コース	火災や地震の怖さについて体験しながら学習する
防災総合コース	防災、消火、避難、応急処置コースを網羅した学習を行う

14 施設等の警備業務

岩手県消防学校が配置している寄宿舎管理人兼当直専門員が、岩手県消防学校校舎とともに岩手県立総合防災センターの警備を実施している。指定管理者制度移行後も引き続き現体制を維持する。

日中夜間早朝の巡視 18時00分 22時00分 6時30分 計3回

15 自家用電気工作物の保安管理業務

岩手県立総合防災センターの需要設備は、岩手県消防学校の需要設備と一体になっており、岩手県消防学校が岩手県立総合防災センターの需用設備も含め保安管理業務を実施している。指定管理者制度移行後も引き続き現体制を維持する。

また、岩手県立総合防災センターには非常用予備発電装置が一基設置されており、岩手県消防学校に設置されている非常用予備発電装置とともに、岩手県消防学校が保安管理業務を実施している。指定管理者制度移行後も引き続き現体制を維持する。

岩手県立総合防災センターに設置されている非常用予備発電装置の内訳			
場 所	種 別	電 圧	出 力
1階発電機室	屋内キュービクル型発電機	200V	30KVA

16 施設配置図

別添資料のとおり

17 岩手県防災指導車

(1) 愛称「そばっち号」

(2) 用途目的

岩手県立総合防災センター機能の一つとして県内各地において、疑似体験を通じ、広く県民の防災に関する知識の普及・啓発に資することを目的として平成9年度に導入された岩手県防災指導車「しんちゃん」の後継車両として整備されたものである。

(3) 設置年月日 平成30年5月10日

(4) 主要装置等概要

ア 車 体 3トントラック 総重量 7,195 kg (いすゞ自動車製 4輪駆動)

イ 起 震 装 置 前後方向 280mm、左右方向 120mm、上下方向 40mm の範囲で作動し、以下の地震を体験できる。起震装置の揺れに連動して、体験室内の大型ディスプレイ (43 型) に映像と効果音が発生するとともに、音声によるナレーションや LED の文字表示機で地震発生年月日、地震名の表示を行う。

なお、ナレーションは、日本語、英語、中国語、韓国語を、LED 表示は日本語、英語を準備している。

(ア) 震度階地震 震度2から震度7までの各震度階の揺れを再現する。

(イ) 再現地震 過去に発生した関東大震災、宮城県沖地震、三陸はるか沖地震、阪神淡路大震災、東日本大震災津波、熊本地震を再現する。

ウ その他装備品 煙体験テント、消火訓練セット (訓練用水消火器、消火訓練用的 (まど)、電動小型コンプレッサー)、暗幕、モバイルノートパソコン等

(5) 車両外観図

別紙資料のとおり